

令和6年度 第3回甲斐市総合計画審議会

日 時 令和6年7月22日(月)
15時00分～16時40分
場 所 本館3階大会議室
出席委員 14名／19名
欠席委員 小宮山委員、小林委員
草野委員、芦川委員
中込委員

1 開会(事務局)

・事務局より、欠席委員(小宮山委員、小林委員、草野委員、芦川委員、中込委員)の報告を行った。

2 市長あいさつ

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日の審議会では、甲斐市総合計画に関するパブリックコメント等の実施結果についてご説明させていただくとともに、事務局が作成をいたしました第3次総合計画の体系図案をご確認いただきたい。

また、第2回審議会にて、諮問致しました基本構想案について、最終審査となる答申のとりまとめをお願いしたいと考えております。

なお、本日答申いただく基本構想案につきましては、8月市議会に議案提出する予定となっております。委員の皆様には、新たな計画の策定に向けまして、忌憚のないご意見を賜りたく、お願いいたします。

3 会長あいさつ

今日の資料の基本構想案にも記載がございますとおり、甲斐市は昨年、県内自治体として初めて脱炭素先行地域に選定されました。これは、市民の皆様の地球温暖化防止や自然環境維持への関心の高さを反映したものと考えられます。

さて、脱炭素に関しては、EU欧州連合がこれまで先進的な政策で世界をリードしてまいりましたが、EU理事会と共に、EUの立法機能を担っている欧州議会の選挙が先月6月に行われまして、自国優先の政策を求める声ははっきり現れた形になりました。これにより、EUの脱炭素に関しましては、2050年力

一ボンニュートラル達成という目標は変わらないまま、環境保護政策を過度に重視することへの反発、経済の強靱化や競争力の強化も重視すべきとの意見も踏まえ、対策が修正される可能性も指摘されているところであります。

日本としては、こうした欧州の動向を注視しつつも、先進国としての技術力などを活かし、着実に脱炭素に向けた取り組みを続けていくべきと考えております。本日も活発なご議論をお願い申し上げます。

■市長公務のため、途中退席

4 案件

(1) 第3次甲斐市総合計画基本構想(案)について事務局より説明
質疑無し。

(2) 第3次甲斐市総合計画基本構想(案)の答申について事務局より説明
質疑無し。

(3) 第3次甲斐市総合計画 体系図(案)について事務局より説明

(委員)

基本目標2(1)-⑤困難な問題を抱える女性のための支援の推進の施策が新しく加わった理由を知りたい。

(事務局)

女性へのDVに関する対応や子どもの貧困対策の視点から追加をさせていただいた。

(委員)

DV等への対応に対して、所管課として問題意識をもって新しい項目としてやっていきたいという考えがあるということか。

(事務局)

DVに関する法改正もあり、それに伴い女性に関する支援を新たに付け加えさせていただいた。

(委員)

「基本目標 3 美しい景観と快適で安全な都市機能を築くまち」(1) 良好な景観と市街地の形成⇒(1) 緑豊かで良好な景観と持続可能な都市づくりの推進と赤字で修正しているのは何を示しているのか。

(事務局)

“持続可能な”の文言が追加された経緯について、基本構想で今後 20～30 年先の目標人口を示しているが、今後長期的な人口を見据え、甲斐市においても人口が減少していくだろうという中で今回計画策定を進めていくことが前提にある。人口が減少したなかでも必要な公共交通を維持することや、コンパクトシティを形成することで暮らしやすいまちを維持する必要があることから、“持続可能な”という文言を追記させていただいた。

(委員)

現計画にも元々「コンパクトシティの形成」が含まれているなかで、何をもって“持続可能な”都市づくりなのかが理解できない。(4) 計画的な道路・交通環境の整備-④持続可能な公共交通の整備が入っているが具体的によくわからない。

(事務局)

④持続可能な公共交通の整備について、今年度、甲斐市地域公共交通会議のなかで、市が現在走らせている市民バスの利用が低迷している路線もあることから、A I オンデマンド交通の実証実験に取り組んでいること等を新たに計画に取り入れ、持続可能な公共交通としていきたいという考えである。また、公共交通、バス、タクシーの従業員不足に対応するため、甲斐市では一部のバス路線を自動運転に変える実証実験を行っていくことも踏まえている。

(委員)

デジタル国家構想総合戦略について、コンパクトシティからはじまり、すべてがデジ田に関わるものであるにも関わらず、ここに入っていないのは具体的なものが何もないかと思い質問させていただいた。

(事務局)

“持続可能な”という文言についても、担当課と改めて協議させていただく。

(委員)

基本目標 3- (1) について、①景観・都市づくりの推進、②コンパクトシティの形成とあるが、第2次では①景観まちづくりの推進、②コンパクトシティの形成となっており、“まちづくり”は限定された印象を持つが、“都市”はさらに大きなものをイメージすると思う。“都市”のイメージが具体的にわからないので、教えてほしい。

(事務局)

基本構想の4ページ、基本目標3のなかで方向性を記載している。これについては、国土交通省でも人口減少対策の中で、これまでのコンパクトシティに新たにネットワーク、つまり公共交通の確保を推進する中で、持続可能な都市づくりに努めるという方向性を出している。施策だけではつながりにくい、ストーリーとしては基本目標の方向性に記載しているとおりである。表現の仕方については、担当課とよりわかりやすいものとなるよう協議させていただく。

(委員)

基本目標 5- (5) 地域情報化の推進について、PTAでもデジタル化の推進に取り組んでみたが、ついてこれない人もいる。便利になったところもある反面、置いて行かれる人がでないような施策も合わせて検討いただけると良いと思う。LINEを使えない、スマホを持っていないという声もまだ聞くので、便利なものをみんなが使えるような周知もしてほしい。

人口減少が進む中で、子育ても非常に大切であるが、結婚する率が非常に下がっていることを心配している。結婚しろといってできるものでもない、そのような流れをつくる場づくりも組み込んでほしい。

(事務局)

デジタルについては、ご意見いただいたように、高齢者の方等難しい部分はあるが、誰も取り残さない視点をもって、取り組みを進めていきたい。また、まずは男女の出会いが大切というご意見についても、施策や総合戦略で組み込めないか検討していきたい。

(委員)

基本目標 5- (2) 特色ある地域産業の振興について、一番問題に感じているのが事業承継の推進だと感じている。これに関しては①～⑧の施策に組み込まれているのでしょうか。まだ入っていなければ、具体的な施策を検討する中で、問題意識をもってもらえるとありがたい。

(事務局)

ご意見をいただいた事業継承については、計画に反映できるか、担当課を含め今後検討していきたい。

(委員)

デジタル田園都市国家構想総合戦略が別にある中で、一体的な策定という方向性が出ていたと思うが、第3次の体系図だけみればあまり見いだせない。強いといえば「地域情報化の推進」が新しく入ったということだと思うが、“デジタル”というキーワードの部分がほとんど入っていない。別途、デジ田に入ってくるから基本計画に入っていないということかもしれないが、関連性をわかりやすく示してほしい。

(事務局)

前回の会議で、第3次総合計画の構成イメージをご説明させていただいたが、基本構想を三角に支える部分に施策があり、その中でデジ田に関する部分を策定していくことになり、そこが人口減少対策関連の施策を踏まえているような状況となる。今の施策に対して串刺しのような形で基本計画にデジ田が入り込むことになるため、次回総合戦略の体系図をお示ししたところで、より詳しいご説明をさせていただきたい。

(委員)

例えば基本目標 5-（3）には“移住定住”といった文言が入ってるが、二地域居住や防災 DX 等の動きが総合戦略で串刺しに入ってくるというイメージで良いか。

(事務局)

市の総合計画は、まちづくり基本条例に基づき、基本計画として教育・福祉・行政といった各分野の全体的な計画である一方、デジタル田園都市国家構想総合戦略は、人口減少対策に特化した内容となっている。委員からのご意見で「移住定住」という言葉があったが、これまで、第2次総合戦略における人口減少対策として戦略的な取り組みを行ってきた。その成果のなかで甲斐市は人口が微増となっており、新たな総合計画の基本計画でも集中的に取り組もうという流れである。

また、先ほど産業振興に関するご意見もいただいたが、当時は創業支援について総合戦略に入れていたが、形ができてきたので事業継承という言葉が出てくることと考えている。

結婚問題や人口減少問題は、今後はデジタルを活用して、出会える場をつくることや、情報発信を行うことで、コストを削減し、集中的に取り組むことが新たな計画づくりのポイントになってくる。手探りではあるが、デジタルとアナログを混ぜていくため、次回からまた詳しくご説明をさせていただきたい。

(委員)

デジタル田園都市国家構想総合戦略については、パイロット的に様々な都市で取り組みがされているが、今後甲斐市が取り組む予定はあるのか。

(事務局)

基本目標 3-(3)-④で記載しているように、公共交通では AI オンデマンドや自動運転に取り組んでおり、今後も推進していきたい。

(4) 今後のスケジュールについて事務局より説明

質疑なし。

5 第3次甲斐市総合計画 基本構想(案)の市長への答申

(1) 会長から市長に第2次甲斐市総合計画基本構想(案)の答申を行った。

(2) 市長あいさつ

本日の答申で委員の皆様からいただいたご意見につきましては、本計画に反映するとともに、基本構想で定めた目標を実現するための基本計画及び甲斐市デジタル田園都市国家構想総合戦略につきまして、引き続きご審議いただきますので、今後ともご協力をお願いしたいと存じます。

これまで、甲斐市は 76,500 人程度まで人口増加が続いてきましたが、南アルプス市へ甲斐市の若い方たちが移住してしまうこともありました。やはり皆さんに住んでいただけるようなまちづくりを進めるため、委員の皆様からご提言をいただきたい。

また、緑化センター跡地の活用の構想については、コロナの影響もあり、若干方針転換を行い、子育て支援施設を中心に検討することとなりました。緑化センター跡地活用のアイデアを募集したところ、約 1,500 件の意見をいただき、参考にさせていただいたところであります。

この審議会でも夢を描いていただいて、これからのまちづくりの参考にさせていただきたいと思います。

6 その他

(事務局)

第4回審議会は10月上旬の開催を予定しているので、よろしくお願いいたします。

以上